様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年９月 12 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人　高知県東部観光協議会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 高知県室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村	
所在地	高知県安芸市	
設立時期	平成 28 年 2 月 26 日	
事業年度	４月１日から翌年３月 31 日までの１年間	
職員数	７人【常勤５人（正職員４人・出向等１人）、非常勤２人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 西内　直彦 （出身組織名） 安芸市長	9 市町村で構成する安芸広域市町村圏事務組合の管理者や東部地域の各種組織の長を兼任し、9 市町村及び各関係機関を取りまとめる組織の中核としてパイプ役を担う。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 中元　健裕　「専従」 （出身組織名） （一社）高知県東部観光協議会 プロパー職員	旅行会社での旅行販売に長年従事。セールス・プロモーションに高い能力を持ち、多数の商品を取り扱う中で得た知識・経験を生かし、企画・造成・販売を行う。総合旅行業務取扱管理者。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 中元　健裕　「専従」 （出身組織名） （一社）高知県東部観光協議会 プロパー職員	旅行会社での旅行販売に長年従事。セールス・プロモーションに高い能力を持ち、多数の商品を取り扱う中で得た知識・経験を生かし、企画・造成・販売を行う。総合旅行業務取扱管理者。持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
プロモーション、旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者につ	（氏名） 中元　健裕　「専従」 （出身組織名） （一社）高知県東部観光協議会 プロパー職員	旅行会社での旅行販売に長年従事。セールス・プロモーションに高い能力を持ち、多数の商品を取り扱う中で得た知識・経験を生かし、企画・造成・販売を行う。総合旅行業務取扱管理者。

いては、氏名の右横に「専従」と記入すること		
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	◆高知県観光振興スポーツ部地域観光課（広域観光の推進・支援） ◆室戸市観光ジオパーク推進課（地域づくり・地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり、財政支援） ◆安芸市商工観光水産課（〃） ◆東洋町産業建設課（〃） ◆奈半利町地方創生課（〃） ◆田野町地域振興課（〃） ◆安田町地域創生課（〃） ◆北川村産業政策課（〃） ◆馬路村地域振興課（〃） ◆芸西村企画振興課（〃）	
連携する事業者名及び役割	（一社）室戸市観光協会（地域づくり・地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり） （一社）安芸市観光協会（〃） （一社）東洋町観光振興協会（〃） （一社）北川村文化観光公社（〃） ◆体験事業者（地域資源を活かした観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり） ◆観光事業者（〃） ◆交通事業者（〃） ◆宿泊事業者（〃） ◆体験事業者（〃） ◆農水商工関係（〃）	
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】① （概要）定款に基づき社員総会・理事会を開催するほか、実務者レベルで事業の進捗状況や目標の達成状況を共有し、事業計画等の調整を行うため観光担当課長会議を適時開催している。 ＜通常総会＞ 決算、事業計画及び予算の承認の為、年 1 回開催する旨、定款に定めている。 ＜臨時総会＞ 年度事業計画及び収支予算案の承認の為、少なくとも年 1 回開催。 その他「定款の変更」等重要な事項を決議する際に開催する旨、定款に定めている。 ＜理事会＞ 各市町村の副首長及び観光協会の代表者からなる理事を選任し、公益的な観点から事業計画等に関して合意形成を図る仕組みとして理事会を開催している。	
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	観光による地域づくり活動をブラッシュアップし、将来的な地域の未来を考えるために、地域の若手事業経営者を主な対象としたセミナーやワークショップ開催に向けた支援や、民泊及び体験等教育旅行の受入研修を実施している。	
法人のこれまでの活動実績	**【活動の概要】** １．旅行会社へのセールス推進による誘客拡大 ■ひがしこうちの認知度向上による観光客等の誘致拡大のために、一般・教育・訪日外国人等を対象とした各種商談会への参加および旅行会社への戸別訪問等のセールスを推進（H28～） ■各種助成制度を構築し、旅行会社からの誘客を促進（H28～）	

	・高知県東部地域周遊型旅行商品販売促進支援事業助成金（広告費等助成） ・高知県東部地域周遊旅行貸切バス助成事業 ・高知県東部地域修学旅行誘致助成事業 ・高知県東部旅行会社視察調査助成事業 ・観光列車『志国土佐 時代の夜明けのものがたり』販売促進助成事業 ■各種販促ツールを整備し、旅行会社からの誘客を促進 ・教育旅行素材集「おらんく体験プログラム」の作成（H30） ・旅行会社向け「高知県東部観光素材集」の作成（R 元） ・教育旅行素材集「fun!fan!ひがしこうち」の作成（R3） ２．教育旅行の受入「校数拡大」と「体制強化」 ■田舎生活体験（民泊）、マリンアクティビティ体験等を強みに関西・中四国を中心に旅行会社へのセールスを推進（H28～） ■9 市町村の協力を得ながら、民泊の受入家庭登録数を増やす取組の推進（H28～） ■教育旅行の受入研修等を実施し、受入体制を整備（H28～） ・教育旅行受入前の研修会や受入後のふりかえり会 ・先進地事例視察 ・新型コロナ対応ガイドラインの作成 ■体験事業者支援事業（コロナ禍の影響を受けた教育旅行での体験受入を行っている事業者に支援金を給付）（R2）　等 ・高知県東部受入環境整備事業費補助金（R6） ３．メディア等を活用した「ひがしこうち」のプロモーション強化による認知の拡大 ■ホームページによる情報発信（ホームページの充実化）（H28～） H28：ホームページ開設 R 元：ホームページ用四季別 PR 動画の作成、英語ページ制作 R2：ホームページリニューアル、多言語版ページ作成（英語・中国語） R6：デジタル観光マップ「ものと一ぶナビ」特設サイト開設 ■SNS による情報発信（H28～）（Instagram、Facebook、X、YouTube） H30・R 元：首都圏女性インスタグラマー招聘によるプロモーションの実施 R2～4：YouTube インストリーム広告、WEB・SNS 広告の掲出 R5～：YouTuber 及び Instagramer への委託によるプロモーションの実施 ■高知県東部地域観光ガイドブック「ひがしこうち」作成（H30～） ■インバウンド向けガイドブック（英語・中国語：繁体字）の作成（R 元） ■東部地域内 3 エリア別パンフレット「ひがしこうち mine」作成（R2～） ■TV や雑誌等のマスメディアを活用した PR(H28～) ・旅番組等でのスポット CM・番組内インフォマーシャルの放映　等 ・旅行関係雑誌・情報誌等への掲載（中四国タウン情報誌、SAVVY、旅の手帖、LMAGAMOOK 高知 等） ■交通機関、施設等での発着地 PR（H28～） 高知龍馬空港、路面電車車内、大阪メトロ御堂筋線車内等での広告掲出 西日本主要サービスエリア、高知県内主要観光案内所、観光・宿泊施設等へのガイドブック配架 ■県内外のイベント等出展による PR 活動（H28～） 大阪海遊館・大阪天神橋筋商店街・SUPER LOCAL SHOP とさとさ、とさのさとアグリコレットでの PR イベント、ツーリズム EXPO ジャパン、 高知城夜のお城まつり　等 ■海外の旅行専門誌掲載、旅行会社への観光情報メール配信（1,100 社）等インバウンドへの PR 活動 ４．９市町村との広域連携事業推進による「ひがしこうち」の認知の拡大

■「太平洋パノラマトロッコ」(H29)「志国土佐時代の夜明けのものがたり」（R3～）等での市町村と連携したおもてなしの実施
■志国高知幕末維新博＆ごめん・なはり線 15 周年記念「ひがしこうちぐるっと周遊キャンペーン」(H29)、「ひがしこうち旅周遊キャンペーン」(H30)、「高知東部食プロジェクト」でのグルメを切り口にしたスタンプラリー（H29～）などの周遊企画実施による着地プロモーション
■広域的な取り組みの支援
・安芸・室戸パシフィックライド、高知東海岸 土佐の町家ひなまつり、高知東海岸グルメまつり等の開催支援（H28～）
・魚梁瀬森林鉄道日本遺産協議会と連携した日本遺産認定への取り組み、「ゆず FeS」など中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会と連携した取り組みの実施（H28～）
・飲食関連事業者を中心とした「高知東部食プロジェクト」の立ち上げ及び「～2020 サバらしい日々～」「あなたのシイラない魚介」「おらんくの自慢の一品ハッシュタグキャンペーン」「春らんまんキャンペーン」「ひがしこうちを“しーる”たび」などの活動支援（H28～）
■リロクラブ（企業向け福利厚生サービス）での高知県東部宿泊補助キャンペーンの実施（R 元）
■「世界に誇る観光地を形成するための DMO 体制整備事業」（観光庁事業）による交通情報整備（R3）
エリア内二次交通情報の GTFS データ整備・オープンデータ化・Google を介した情報提供の実施
■「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集･分析事業」（観光庁事業）によるデータ収集･分析の実施
・宿泊データ収集・分析システム（R3～R6）
・CRM アプリひがしこうち公式旅とくアプリ「ひひひ！」(R3～R5)
５．ひがしこうちのコンテンツ開発・磨き上げ及び魅力づくり支援
■着地型商品の造成・販売（H28～）
H28～：観光資源の発掘・磨き上げ
伊尾木洞（安芸市）：H28～旅行会社へ素材提案、ガイドツアー造成支援（伊尾木洞入込客数　H27：234　→　H29：6,878）
H28～：体験プログラム実施団体への助成による体験プログラム造成、磨き上げ
H28：5 団体、H29：8 団体、H30：8 団体、R 元：6 団体、R2：3 団体
R3：9 団体、R4：6 団体、R5：3 団体
H29～：オリジナル商品の造成・販売　「しらす漁見学＆船釣り体験」
H29～：ゆず FeS（中芸地域でのおんぱく）を機会とした商品造成・磨き上げ支援
H29～：商品造成・磨き上げのためのモニターツアー実施
H30～：県主催の土佐の観光創生塾と連携した体験プログラム造成、磨き上げ支援
R2：訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業の活用による、欧米豪市場の訪日無関心層をターゲットとしたコンテンツの造成、磨き上げ支援（四国運輸局事業）
R2：アドベンチャートラベル(AT)共同協業販路開拓支援事業によるツアー商品造成の支援
R3～R6：県の観光地域づくり塾を通して策定した滞在型観光プラン整備計画に基づくコンテンツ造成
R6～：体験プログラム実施団体への補助等により、モニターツアーの実施を支援し、受入環境の整備を推進

R6：「地域観光新発見事業」（観光庁事業）を活用した「ゆずツーリズム創出事業」の実施による宿泊体験マイカープラン（３コース）及び日帰り体験マイカープラン（２コース）の造成

■受注型企画旅行の手配・受入（H29～）

■新規造成された商品を中心とした体験プログラムの PR チラシ作成、新聞折込（高知新聞:高知市以東全世帯）（R 元～4）

■ひがしこうち「食」の開発事業の実施

・香香柚子グルメ（R3～R5）

【定量的な評価】

◆観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数

実績	人	対前年比
平成 28 年	2,343,600	－
平成 29 年	2,330,806	99.5%
平成 30 年	2,454,671	105.3%
令和　元年	2,495,024	101.6%
令和　２年	1,846,874	74.0%
令和　３年	1,834,948	99.4%
令和　４年	1,882,480	102.6%
令和　５年	1,893,257	100.6%
令和　６年	1,853,127	97.9%

◆公式ホームページへの閲覧数（PV）

実績	ページビュー	対前年比
平成 29 年度	71,753	－
平成 30 年度	405,085	564.6%
令和　元年度	483,735	119.4%
令和　２年度	401,083	82.9%
令和　３年度	352,416	87.9%
令和　４年度	500,933	142.1%
令和　５年度	332,616	66.4%
令和　６年度	325,412	97.8%

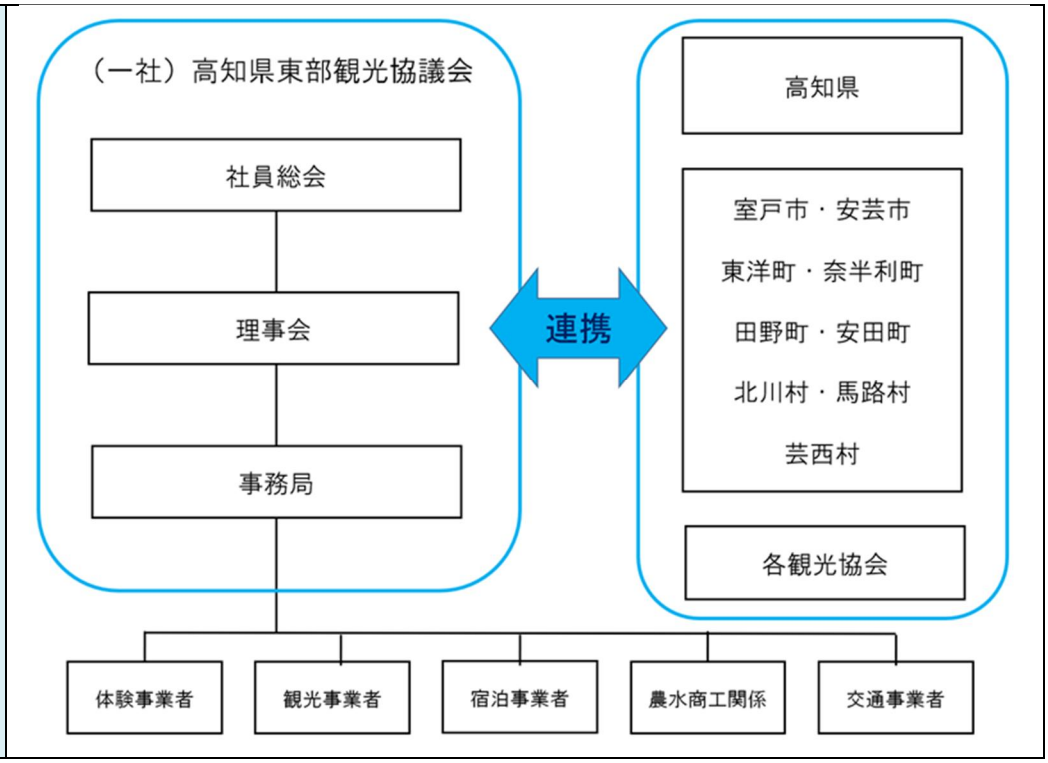
実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

（一社）高知県東部観光協議会が舵を取り、行政・関係団体・各事業者が主体的に滞在型・体験型観光の拡充（既存の観光資源のブラッシュアップと新たな観光資源の発掘等）と売れる化、情報発信、宿泊機能の強化、アクセス等の利便性やおもてなしの向上、スポーツ交流、地域との連携等に取り組む。

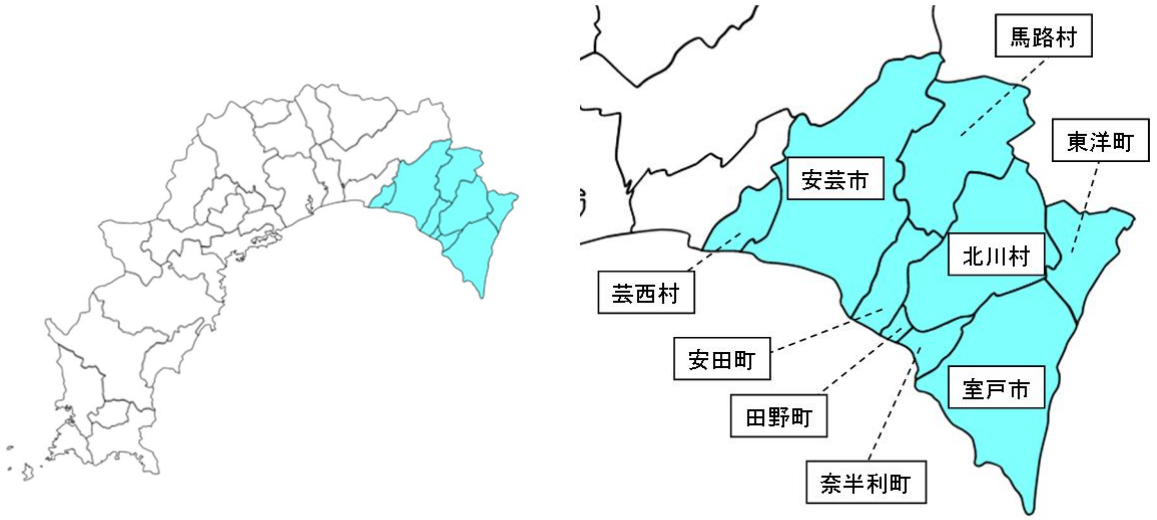
【実施体制図】

様式１



２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 28 年 2 月に高知県東部地域を構成する 9 市町村及び高知県により（一社）高知県東部観光協議会を設立。平成 29 年 2 月に旅行業（第 2 種）登録を行い、高知県東部地域への誘客と周遊促進等による地域経済活性化に取り組んできており、高知県産業振興計画とも連動している。また、各事業の推進については、行政・事業者等が連携して決定し、検証する仕組みが既にできている。観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

様式１

【観光客の実態等】

令和６年の観光施設・体験プログラム・直販所等の入込客数は 1,853,127 人となり、対前年比で 97.9%となった。①Ｒ５年度の高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」や、当協議会が実施した誘客促進キャンペーンの反動減により、主要観光施設（北川村モネの庭マルモッタン、むろと廃校水族館）の入込数が減少、②管内ホテルの休館や廃業の影響による立ち寄り減や旅行商品の造成への悪影響により、観光施設・体験プログラムの入込客数が減少した。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
観光施設･体験プログラム･直販所等の入込客数	1,846,874 人	1,834,948 人	1,882,480 人	1,893,257 人	1,853,127 人

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

市町村	観光施設･拠点	自然･史跡･文化	体験･イベント
室戸市	室戸世界ジオパークセンター、室戸ドルフィンセンター、シレストむろと、むろと廃校水族館、室戸岬灯台、室戸スカイライン、乱礁遊歩道、吉良川まちなみ館、道の駅キラメッセ室戸（食遊･鯨館･楽市）、海の駅とろむ	室戸岬、室戸岬亜熱帯性樹林及海岸植物群落、室戸ユネスコ世界ジオパーク、室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区 、最御崎寺、津照寺、金剛頂寺、御厨人窟、吉良川の御田祭、野根山街道、柚子	ウミガメ調査隊（ウミガメ調査＆放流体験）、アオノリ収穫体験、土佐備長炭作り体験、サツマイモの収穫･焼き芋づくり、イルカ体験プログラム、ビーチコーミング、多肉植物寄せ植え、吉良川の町並み散策ガイド、ジオパークガイド、土佐室戸鯨舟競漕大会、土佐の町家ひなまつり
安芸市	岩崎彌太郎生家、土居廓中、野良時計、内原野陶芸館･ガラス工房、安芸市立歴史民俗資料館、安芸市観光情報センター、安芸市立書道美術館、安芸駅ぢばさん市場、道の駅大山、廓中ふるさと館	大山岬、伊尾木洞のシダ群落、安芸市土居廓中伝統的建造物群保存地区、妙山寺 、赤野獅子舞、入河内獅子舞、日本酒蔵、柚子、茄子	陶芸体験、とんぼ玉づくり体験、船釣り体験、伊尾木洞ガイド「伊尾木洞のふしぎ発見」、安芸町並みガイド、高知東海岸グルメまつり＆鉄道の日、土佐の町家ひなまつり
東洋町	生見サーフィンビーチ、白浜海水浴場、白浜キャンプ場、野根川オートキャンプ場、大斗沈下橋、春日神社と千年杉、道の駅東洋町	白浜海岸、生見海岸、野根川、サンゴ、牛ケ石･馬ケ石、野根山街道、流鏑馬、柚子、ポンカン	サーフィン、ボディーボード、スタンド･アップ･パドルボード、シュノーケリング、ダイビング、田舎体験こけら寿司作り体験、野根川リバーウォーク
奈半利町	藤村製絲記念館、海辺の自然学校、米ヶ岡生活体験学校、物産館「無花果」、奈半利のおかって	旧魚梁瀬森林鉄道施設、サンゴ、奈半利川、琵琶ケ滝、濱田家住宅、竹崎家住宅、藤村製絲株式会社倉庫、高札場、野根山街道、柚子、平地区のコスモス	シーカヤック、スタンド･アップ･パドルボード、シュノーケリング、奈半利の町並み散策ガイド、土佐の町家ひなまつり

田野町	岡御殿、浜口雄幸旧邸、清岡道之助旧邸、郡奉行所跡、旧岡家住宅（西の岡邸）、二十三士公園、臥竜梅、田野町完全天日塩製塩体験施設、道の駅田野駅屋	旧魚梁瀬森林鉄道施設、奈半利川、大野台地、濵川商店酒蔵、福田寺野根山二十三士墓所、田野学館跡、日本酒蔵、柚子	完全天日塩作り体験、大野台地農業体験、田野案内人「賛」、土佐の町家ひなまつり
安田町	安田まちなみ交流館・和、安田川アユおどる清流キャンプ場、大心劇場、神峯山・空と海の展望公園、安田川ほたるの里河川公園、輝るぽーと安田、味工房じねん、ゆずロードミュージアム	旧魚梁瀬森林鉄道施設、安田川、大野台地、釜ヶ谷の滝、神峯寺、北寺、乗光寺、西岡家住宅、軍鶏闘鶏場、日本酒蔵、柚子	唐浜化石発掘体験、染め物体験、田舎料理作り体験、土佐の町家ひなまつり
北川村	北川村「モネの庭」マルモッタン、中岡慎太郎館、中岡慎太郎生家、北川村温泉ゆずの宿	旧魚梁瀬森林鉄道施設、奈半利川、不動の滝、小川川甌穴岩群、宿屋杉、岩佐の関所跡、野根山街道、星神社のお弓祭り、柚子	モネの庭見学＆押し花小物作り、土佐の町家ひなまつり
馬路村	森林鉄道インクライン、馬路森林鉄道、魚梁瀬森林鉄道、魚梁瀬森林公園オートキャンプ場、馬路温泉、千本山展望台、馬路村農協ゆずの森加工場、まかいちょって家	旧魚梁瀬森林鉄道施設、魚梁瀬杉、安田川、奈半利川、相名の棚田、千本山、朝日出山の大杉、金林寺、柚子	魚梁瀬森林鉄道乗車体験・運転体験、馬路森林鉄道・インクライン乗車体験、アロマクラフト体験、魚梁瀬千本山トレッキングガイド、魚梁瀬森林鉄道遺産巡りガイド、むらの案内人クラブ、土佐の町家ひなまつり
芸西村	芸西村文化資料館・筒井美術館、芸西天文学習館、伝承館、芸西村の家、お龍・君枝姉妹像、Kochi 黒潮カントリークラブ、琴ヶ浜かっぱ市	琴ヶ浜、メランジュ帯、末延家住宅、白玉糖製糖、まんじゅう笠、日本酒蔵、柚子	ブルースターハウス見学、フラワーアレンジメント体験、白下糖炊き上げ体験、村内ガイドと行く　芸西　村あるき、琴ヶ浜松原観月の宴、琴ヶ浜竹灯りの宵、

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	宿泊施設数	客室数	収容人員
室戸市	2	16	56
安芸市	2	56	94
東洋町	1	45	180
奈半利町	2	52	93
田野町	0	0	0
安田町	1	27	42
北川村	1	14	46

馬　路　村	2	39	164
芸　西　村	2	204	588
合　計	**13**	**453**	**1,263**

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○区域までの交通

自動車	・高知自動車道　南国 IC～(国道 32、55 号経由)～芸西村 （南国 IC～芸西村間　約 22km） ・徳島自動車道　徳島 IC～(国道 11、55 号経由)～東洋町 （徳島 IC～東洋町間　約 90km）
鉄道	・土佐くろしお鉄道ごめん･なはり線　西分駅～奈半利駅 （JR 土讃線　後免駅より） ・阿佐海岸鉄道阿佐東線　甲浦駅 （JR 牟岐線　徳島駅より）
航空機	・高知龍馬空港 （空港～芸西村間　約 15km） 東京 ⇔ 高知 大阪 ⇔ 高知 名古屋 ⇔ 高知 福岡 ⇔ 高知 台湾 ⇔ 高知(定期チャーター便)
高速バス	・大阪 ⇔ 生見／室戸

○域内交通

・土佐くろしお鉄道ごめん･なはり線 ・高知東部交通　路線バス

【外国人観光客への対応】

・多言語（英語・韓国語・中国語（繁体・簡体））のパンフレットを作成
・インバウンド受入・接遇研修の実施や、ホームページ及び SNS の多言語表示対応
・デジタル観光マップ「ものとーぶナビ」による観光情報の多言語表示対応

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光施設の入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
体験プログラムの入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
道の駅等直販所等の入込客数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
延べ宿泊者数	KPI として活用	各施設から定期的に回答
観光消費額	KPI として活用	施設ごとの平均単価実数（R6）又は参考価格に入込数を乗じて算出
来訪者満足度・リピーター率	KPI として活用	来訪者満足度 Web アンケート調査（31 年度から実施）
WEB サイトのアクセス状況	KPI として活用	Google Analytics を活用

様式１

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

高知県東部地域は、室戸ユネスコ世界ジオパークをはじめとするダイナミックな「自然」や、その自然が育んだ新鮮な海・山・川の幸を活かした「食」、維新の原動力となった中岡慎太郎や三菱グループの創業者である岩崎彌太郎などを輩出した地として残る豊かな「歴史文化」、また、お遍路文化に裏付けられるホスピタリティあふれる「人」など、多くの観光資源に恵まれている。

しかし、これまでは観光エリアとしての認知度が低かったため、情報発信力を高めて地域の観光力を向上させることが課題となっていた。

そのため、当協議会を中心として、ひがしこうち魅力創出の推進、効果的な情報発信とセールスの強化、下支えする基盤整備の推進により誘客を促進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげることとしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ●自然や食の観光素材が多い ・海・川・山の自然が生活圏内にあり、それらを活用した体験プログラムが多数存在する。 ・文化庁の 100 年フード宣言にも認定された「ゆず料理」「なすのたたき」「こけら寿司」「白玉糖」をはじめ、金目鯛、鯨、ちりめんじゃこなどと新鮮食材や食文化が豊富にある。 ●マリンスポーツや歴史等の資源の充実 ・サーフィンやスタンド・アップ・パドルボード等の海での体験プログラムが多いほか、岩崎彌太郎や中岡慎太郎等の歴史人物にゆかりのある場所が多い。 ●地域に対する愛着が強く、知識も深い ・長年住み続けている人が多いため、地元愛が強く、歴史や自然等に対する知識がとても深い。 ●温かい人柄とおもてなし ・高知県東部地域では、来客へのおもてなしの意識が強く、そのため観光客の評価が高い。 ●高知龍馬空港からの距離が近い ・就航都市からの誘客に有利である。 ●教育旅行の継続した受け入れ	弱み（Weaknesses） ●宿泊施設および収容人員が少ない ・大規模収容の宿泊施設が少なく、小規模の宿泊施設が多い。また、施設数が少ないため、通過型の観光が多い。 ●観光・体験プログラム受け入れ体制の脆弱性 ・体験プログラムの多くは、当日受け入れができない。また、駐車場を含めて、大口団体に対応できない場合が多い。 ●儲けること、稼ぐことに消極的 ・おもてなしの風土が強く、儲ける意識が低いため、儲けることに消極的である。 ●移動・周遊のための公共交通機関が少ない ・東部地域内を移動・周遊するための公共交通機関が限られており、運行便数も少ない。また、鉄道⇔路線バスへの乗り換えもしくは乗り継ぎが必要であり、運賃も割高。 ●インバウンド受入体制の遅れ ・インバウンド対策に必要な外国語表記への対応が遅れており、さらに Wi-Fi フリースポット及び洋式トイレの整備等が進んでいない状況。

	機会（Opportunity）	脅威（Threat）
外部環境	●コロナ禍におけるマイクロツーリズムの拡大 ●2025 年日本国際博覧会開催による、インバウンド旅客の増加 ●ＮＨＫ連続テレビ小説「あんぱん」放送による観光需要・メディア露出機会の増加。 ●連携事業に対する理解の推進 ・市町村枠を超えた連携事業の経験値が上がり、地域連携事業に対する抵抗が緩和しつつある。 ●高知東部自動車道の延伸 ・高知自動車道から東部地域へのアクセス改善。	●人口の減少、人材不足 ・人口の社会減や若者の減少により、地域の活力が減少している。特に、伝統文化の喪失、民泊受入家庭や体験プログラムインストラクターの減少が懸念される。 ●県観光博覧会終了後の集客効果の減少 ・高知県観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」終了の反動による集客効果の減少 ●2025 年日本国際博覧会や瀬戸内国際芸術祭の開催による、県外観光客の減少

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
関西在住の情報取得感度と拡散力が高い 30～40 代の女性層

〇選定理由
・Ｒ３高知県東部地域ポテンシャルニーズ調査報告書（じゃらんリサーチセンター）による。
・調査結果によると、高知県東部を目的とした宿泊旅行においては、30～44 歳の女性の割合が最も多いことが判明した。また、来訪割合が高く、また、自家用車での来訪が可能な関西圏エリアを第１ターゲットとした。

〇取組方針
・同調査において、下記のようなイメージのギャップがあることが判明した。

	30～44 歳の女性の来訪者	同左（非来訪者）
おいしいグルメやスイーツがある	51.5%	26.5%
買いたいお土産がある	48.5%	19.1%
楽しめる場所が少ない	20.6%	39.7%

・このことから、見る・遊ぶ・食べる・買うなどの地域資源の磨き上げを図りながら、観光コンテンツ化し、関西方面に向けた情報発信を強化・推進することで、誘客につなげることを目指す。
・また、魅力を「見つけ」「育て」「伝えていく」上記の取り組みと併せて、エリア内の事業者や自治体等と連携しながら、観光客の受入体制・環境を整備・推進、強化していくことで、観光客等に何回も訪れてもらえる、ストレスフリーに楽しめる観光地域づくりを目指していく。

〇ターゲット層
中四国在住の情報取得感度と拡散力が高い女性層（30 歳未満）

〇選定理由
・Ｒ３高知県東部地域ポテンシャルニーズ調査報告書（じゃらんリサーチセンター）による。
・調査結果により、高知県東部を目的とした日帰り旅行においては、30 歳未満の女性の割合が最も多いことが判明した。また、来訪割合の半数以上を占め、自家用車での来訪が可能な中四国エリアをターゲットとした。

〇取組方針
・同調査において、下記のようなイメージのギャップがあることが判明した。

	30 歳未満の女性の来訪者	同左（非来訪者）
おいしいグルメやスイーツがある	63.2%	30.9%
買いたいお土産がある	44.1%	20.6%
楽しめる場所が少ない	27.9%	45.6%

・このことから、見る・遊ぶ・食べる・買うなどの地域資源の磨き上げを図りながら、観光コンテンツ化し、中四国方面に向けた情報発信を強化・推進することで、誘客につなげることを目指す。
・また、魅力を「見つけ」「育て」「伝えていく」上記の取り組みと併せて、エリア内の事業者や自治体等と連携しながら、観光客の受入体制・環境を整備・推進、強化していくことで、観光客等に何回も訪れてもらえる、ストレスフリーに楽しめる観光地域づくりを目指していく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	～広大な山を背にした、どこまでも続く海岸線の 景色、ありのままの自然。 　自然と共存する豊かな食資源と文化～
②コンセプトの考え方	土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」の車窓から眺める大きな太平洋、国道 55 号線沿いにどこまでも続く海岸線など、ここにしかない、ここでしか見られない「ありのままの自然、景色」や漁獲量が西日本トップを誇る「金目鯛」、全国ご当地じゃこサミットが開かれる安芸市民のソウルフード「しらす」といった新鮮な海の幸、文化庁の 100 年フード宣言にも認定された「ゆず料理」「なすのたたき」「白玉糖」などの豊かな食資源や食文化を、ひがしこうちのブランドとして浸透させていきます。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	※戦略の共有方法について記入すること 定款に基づき開催する社員総会、理事会のほか、９市町村の観光担当課長会議による協議により、連携して戦略推進に取り組む仕組みを構築。 ＜社員総会＞ 通常総会（６月）、臨時総会（３月・必要に応じて開催） ＜理事会＞ 社員総会の開催前・必要に応じて開催 ＜課長会＞ 四半期毎を目途に開催
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	一般、教育、国際の３つの旅行市場に対して、各市場のターゲットやニーズに沿って、旅の目的地となる地域資源の磨き上げを図り、体験プログラム化し、魅力づくりを行い、体験型観光を推進することで、県内外の観光客等の誘客と域内消費を増やす。 体験型観光の推進に当たっては、当協議会の助成制度の他、県事業や国事業の活用による造成・磨き上げ支援及びフォローアップを行う中でサービスの向上に向けた評価も行う仕組みを構築している。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	ＨＰ及びＳＮＳを活用し、地域内の観光・イベント情報等を一元的に発信・提供している。さらに効果的な情報発信をするために、総合パンフレットの見直し、ＰＲ動画等を活用してＷＥＢ・ＳＮＳを通じた効果的なプロモーションを実施している。

様式１

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022 （Ｒ４） 年度	2023 （Ｒ５） 年度	2024 （Ｒ６） 年度	2025 （Ｒ７） 年度	2026 （Ｒ８） 年度	2027 （Ｒ９） 年度
●旅行消費額 （百万円）	目標	3,527 （　）	3,667 （　）	3,815 （　）	4,162 （　）	4,245 （　）	4,245 （　）
	実績	3,248 （　）	3,832 （　）	3,599			
●延べ宿泊者数 （千人）	目標	155 （　）	158 （　）	161 （　）	172 （　）	172 （　）	172 （　）
	実績	143 （　）	152 （　）	135			
●来訪者満足度 （%）	目標	98 （　）	98 （　）	98 （　）	98 （　）	98 （　）	98 （　）
	実績	89 （　）	94 （　）	83 （　）			
●リピーター率 （%）	目標	75 （　）	75 （　）	75 （　）	75 （　）	75 （　）	75 （　）
	実績	61 （　）	60 （　）	72 （　）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
高知県東部広域観光振興計画（第２期）に基づき令和４～８年度のＫＰＩを設定。
Ｒ９目標はＲ８年度中に設定する予定であるため、Ｒ８と同じとしている。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
新型コロナウィルス感染症の影響を受ける前の令和元年実績を基準とし、５年後（令和８年）までに約 20%成長させるという考え方により目標値を設定。

●延べ宿泊者数
新型コロナウィルス感染症の影響を受ける前の令和元年実績を基準とし、５年後（令和８年）までに約 11%成長させるという考え方により目標値を設定。

●来訪者満足度
来訪者満足度 Web アンケート調査の数値（R2 年度）を基準とし、観光客の総数を増やす（新たな観光客の掘り起しを行う）取り組みにより、初めてひがしこうちエリアを訪れる観光客が増加する

（リピーター率が低下する）ことにより来訪者満足度が減少することを見込み、「現状の水準を維持させることを目標とする」という考え方に基づき目標値を設定。

●リピーター率
　来訪者満足度 Web アンケート調査の数値（R2 年度）を基準とし、観光客の総数を増やす（新たな観光客の掘り起しを行う）取り組みによりリピーター率が減少することを見込み、現状を維持させるという考え方により目標値を設定。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数（千人）	目標	2,182	2,226	2,270	2,429	2,429	2,429
		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	1,882	1,893	1,853			
		（　）	（　）	（　）			
● WEB サイトのアクセス状況（回）	目標	450,000	495,000	545,000	601,000	662,000	662,000
		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	500,933	332,616	325,412			
		（　）	（　）	（　）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
　高知県東部広域観光振興計画（第２期）に基づき令和４～８年度のＫＰＩを設定。
　Ｒ９目標はＲ８年度中に設定する予定であるため、Ｒ８と同じとしている。

【設定にあたっての考え方】
●観光施設、体験プログラム、直販所等の入込客数
　新型コロナウィルス感染症の影響を受ける前の令和元年実績を基準とし、５年後（令和８年）までに約 11%成長させるという考え方により目標値を設定。

●WEB サイトのアクセス状況（回）
　平成 30 年～令和３年度の平均値を基準とし、毎年 10%ずつ成長させるという考え方により目標値を設定。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	135,076,931（円）	**【高知県からの補助金】**24,582,000（円） **【市町村からの負担金】**85,185,721（円）

		【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 4,300,000（円） 【委託業務費】5,164,580（円） 【事業収入】11,174,511（円） 【会費収入】170,000（円） 【繰越利益剰余金繰入】4,500,000（円） 【雑入・利息等】119（円）
2023（Ｒ５） 年度	135,390,462（円）	【高知県からの補助金】63,590,000（円） 【市町村からの負担金】48,299,405（円） 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 7,360,381（円） 【委託業務費】192,000（円） 【事業収入】10,278,530（円） 【会費収入】170,000（円） 【繰越利益剰余金繰入】5,500,000（円） 【雑入・利息等】146（円）
2024（Ｒ６） 年度	85,566,320（円）	【高知県からの補助金】25,000,000（円） 【市町村からの負担金】29,000,000（円） 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 8,300,000（円） 【委託業務費】5,371,143（円） 【観光庁補助金】5,000,000（円） 【事業収入】8,055,156（円） 【会費収入】170,000（円） 【繰越利益剰余金繰入】5,000,000（円） 【雑入・利息等】10,021（円）
2025（Ｒ７） 年度	84,569,000（円）	【高知県からの補助金】25,000,000（円） 【市町村からの負担金】31,100,000（円） 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 8,300,000（円） 【委託業務費】5,500,000（円） 【観光庁補助金】5,000,000（円） 【事業収入】9,499,000（円） 【会費収入】170,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	84,569,000（円）	【高知県からの補助金】25,000,000（円） 【市町村からの負担金】31,100,000（円） 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 8,300,000（円）

		【委託業務費】5,500,000（円） 【観光庁補助金】5,000,000（円） 【事業収入】9,499,000（円） 【会費収入】170,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	84,569,000（円）	【高知県からの補助金】25,000,000（円） 【市町村からの負担金】31,100,000（円） 【安芸広域市町村圏事務組合からの補助金】 8,300,000（円） 【委託業務費】5,500,000（円） 【観光庁補助金】5,000,000（円） 【事業収入】9,499,000（円） 【会費収入】170,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	128,122,160（円）	【企画統括事業】7,805,680（円） 【情報発信・セールス活動事業】10,194,178（円） 【広域関連事業】58,703,895（円） 【旅行商品事業】9,999,464（円） 【観光人材育成事業】265,980（円） 【事務所運営】30,947,667（円） 【その他】10,205,296（円）（円）
2023（Ｒ５） 年度	130,520,778（円）	【企画統括事業】3,024,328（円） 【情報発信・セールス活動事業】12,779,019（円） 【広域関連事業】63,207,878（円） 【旅行商品事業】8,754,200（円） 【観光人材育成事業】524,016（円） 【事務所運営】32,994,377（円） 【その他】9,236,960（円）
2024（Ｒ６） 年度	83,763,382（円）	【企画統括事業】9,594,662（円） 【情報発信・セールス活動事業】12,911,353（円） 【広域関連事業】12,377,748（円） 【旅行商品事業】4,079,956（円） 【観光人材育成事業】257,000（円） 【事務所運営】37,215,940（円） 【その他】7,326,723（円）
2025（Ｒ７） 年度	84,569,000（円）	【企画統括事業】6,100,000（円） 【情報発信・セールス活動事業】11,623,000（円） 【広域関連事業】9,700,000（円）

		【旅行商品事業】8,900,000（円） 【事務所運営】39,476,000（円） 【その他】8,770,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	84,569,000（円）	【企画統括事業】6,100,000（円） 【情報発信・セールス活動事業】11,623,000（円） 【広域関連事業】9,700,000（円） 【旅行商品事業】8,900,000（円） 【事務所運営】39,476,000（円） 【その他】8,770,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	84,569,000（円）	【企画統括事業】6,100,000（円） 【情報発信・セールス活動事業】11,623,000（円） 【広域関連事業】9,700,000（円） 【旅行商品事業】8,900,000（円） 【事務所運営】39,476,000（円） 【その他】8,770,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載
◆高知県からの補助金、および高知県東部地域 9 市町村からの負担金
高知県東部広域観光振興計画（第２期）に基づき、9 市町村との協働による観光地域づくりを推進することで、県からの補助金及び各市町村からの負担金等による安定した資金支援を確保することとする。
◆旅行商品の販売による収益
◆会費収入

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。
高知県、室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村は、一般社団法人高知県東部観光協議会が当該地域における地域連携ＤＭＯとして引き続き地域との連携により魅力的な観光地域づくりを推進していくことに同意している。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

（該当なし）

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	上村　博文
担当部署名（役職）	事務局次長

郵便番号	784-0042
所在地	高知県安芸市土居 82-1
電話番号（直通）	0887-34-0866
ＦＡＸ番号	0887-34-0865
Ｅ－ｍａｉｌ	tobukochi@vesta.ocn.ne.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	高知県
担当者氏名	仙頭　裕貴
担当部署名（役職）	観光振興スポーツ部地域観光課　課長
郵便番号	781-8570
所在地	高知県高知市丸ノ内 1-2-20
電話番号（直通）	088-823-9612
ＦＡＸ番号	088-823-9256
Ｅ－ｍａｉｌ	020601@ken.pref.kochi.lg.jp

都道府県･市町村名	室戸市
担当者氏名	大西　亨
担当部署名（役職）	観光ジオパーク推進課　課長
郵便番号	781-7101
所在地	高知県室戸市室戸岬町 1810-2
電話番号（直通）	0887-22-5161
ＦＡＸ番号	0887-23-1618
Ｅ－ｍａｉｌ	mr-011200@city.muroto.lg.jp

都道府県･市町村名	安芸市
担当者氏名	中川　亮
担当部署名（役職）	商工観光水産課　課長
郵便番号	784-8501
所在地	高知県安芸市土居 82-1
電話番号（直通）	0887-35-1011
ＦＡＸ番号	0887-35-8113
Ｅ－ｍａｉｌ	syokou@city.aki.lg.jp

都道府県･市町村名	東洋町
担当者氏名	大坪　靖幸
担当部署名（役職）	産業建設課　課長

郵便番号	781-7414
所在地	高知県安芸郡東洋町大字生見 758-3
電話番号（直通）	0887-29-3395
ＦＡＸ番号	0887-29-3825
Ｅ－ｍａｉｌ	sanken@town.toyo.kochi.jp

都道府県･市町村名	奈半利町
担当者氏名	小野　丈徳
担当部署名（役職）	地方創生課　課長
郵便番号	781-6402
所在地	高知県安芸郡奈半利町乙 1659-1
電話番号（直通）	0887-38-7775
ＦＡＸ番号	0887-38-7788
Ｅ－ｍａｉｌ	chihousousei@town.nahari.kochi.jp

都道府県･市町村名	田野町
担当者氏名	安岡　裕史
担当部署名（役職）	地域振興課　課長
郵便番号	781-6410
所在地	高知県安芸郡田野町 1828-5
電話番号（直通）	0887-38-9316
ＦＡＸ番号	0887-38-2044
Ｅ－ｍａｉｌ	chiiki@town.kochi-tano.lg.jp

都道府県･市町村名	安田町
担当者氏名	今村　明人
担当部署名（役職）	地域創生課　課長
郵便番号	781-6421
所在地	高知県安芸郡安田町大字安田 1850
電話番号（直通）	0887-38-6713
ＦＡＸ番号	0887-38-6723
Ｅ－ｍａｉｌ	sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

都道府県･市町村名	北川村
担当者氏名	濵渦　朋裕
担当部署名（役職）	産業政策課　課長
郵便番号	781-6441
所在地	高知県安芸郡北川村大字野友甲 1530

様式１

電話番号（直通）	0887-32-1222
ＦＡＸ番号	0887-32-1234
Ｅ－ｍａｉｌ	sangyo@vill.kitagawa.lg.jp

都道府県･市町村名	馬路村
担当者氏名	徳弘　将也
担当部署名（役職）	地域振興課　課長
郵便番号	781-6201
所在地	高知県安芸郡馬路村大字馬路 443
電話番号（直通）	0887-44-2114
ＦＡＸ番号	0887-44-2779
Ｅ－ｍａｉｌ	shinkou@vill.umaji.lg.jp

都道府県･市町村名	芸西村
担当者氏名	池田　加奈
担当部署名（役職）	企画振興課　課長
郵便番号	781-5792
所在地	高知県安芸郡芸西村和食甲 1262
電話番号（直通）	0887-33-2114
ＦＡＸ番号	0887-33-4035
Ｅ－ｍａｉｌ	kikaku@vill.geisei.lg.jp

（登録）【地域連携DMO】一般社団法人　高知県東部観光協議会

様式２

記入日：　令和7年　9月　12日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
高知県室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、
田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
【設立時期】　平成28年2月26日
【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】　代表理事　西内　直彦
【マーケティング責任者（CMO）】　中元　健裕
【財務責任者（CFO）】　中元　健裕
【職員数】　7人（常勤5人（正職員4人、出向等1人）、非常勤2人）
【主な収入】
県補助金25百万円、市町村負担金29百万円　（令和6年度決算）
【主な支出】
広域関連事業　12百万円、一般管理費　37百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
体験事業者・観光事業者・宿泊事業者・農水商工関係・交通事業者

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	3,527（　）	3,667（　）	3,815（　）	4,162（　）	4,245（　）	4,245（　）
	実績	3,248（　）	3,832（　）	3,599（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	155（　）	158（　）	161（　）	172（　）	172（　）	172（　）
	実績	143（　）	152（　）	135（　）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	98（　）	98（　）	98（　）	98（　）	98（　）	98（　）
	実績	89（　）	94（　）	（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	75（　）	75（　）	75（　）	75（　）	75（　）	75（　）
	実績	61（　）	60（　）	（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
関西在住の情報取得感度と拡散力が
高い30～40代の女性層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・地域資源の磨き上げを図りながら、地域資源を観光商品化し、魅力づくりを行いつつ、関西方面に向けたデジタルメディアを活用した情報発信を強化、推進する
【観光地域づくりのコンセプト】
～広大な山を背にした、どこまでも続く海岸線の景色、ありのままの自然。
自然と共存する豊かな食資源と文化～

具体的な取組

【観光コンテンツ開発、磨き上げ】
・飲食関連事業者を中心とした「高知東部食プロジェクト」の立ち上げ「～2020サバらしい日々～」「あなたのシイラない魚介」「春らんまんキャンペーン」「ひがしこうちを“しーる”たび」などの活動支援（H28～）
・「地域観光新発見事業（観光庁事業）を活用した「ゆずツーリズム創出事業」の実施による観光商品の造成

【旅行会社へのセールス推進による誘客拡大】
・高知県東部地域周遊旅行貸切バス助成事業（H28～）
・教育旅行素材集「fun!fan!ひがしこうち」の作成（R3）
【広域連携事業推進による「ひがしこうち」の認知の拡大】
・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会と連携した取組の実施（H28～）
・デジタル観光マップ「ものと一ぶナビ」の整備（R6～）